

IPMATE1600RD USB-LAN の Windows Vista での使用手順書

本書は、IPMATE1600RD USB-LAN を Windows Vista にて使用する場合の USB-LAN アダプタドライバのインストール手順や設定方法などについて記載したものです。

Windows Vista 以外の Windows をご利用の場合は、製品に付属の取扱説明書をご覧ください。

また、ご利用のコンピュータによっては、USB-LAN が使用できない場合があります。

インストールを始める前に

<お知らせ>

- ・ 製品に付属の CD-ROM のバージョンが 1.1 以前の場合、Windows Vista には USB-LAN アダプタドライバのインストールが行えません。ダウンロードしたドライバをインストールしてください。
- ・ USB-LAN アダプタドライバをインストールするコンピュータに「管理者」となっているユーザー名でログオンしてください。「標準ユーザー」のユーザー名や「Guest」でログオンした場合、LAN アダプタのインストールや設定を行う権限が与えられません。
- ・ ユーザーアカウント制御が有効になっている場合、作業の途中で「続行するには確認が必要です」などの確認画面が表示されます。IPMATE1600RD を使用するには、すべての作業が終了するまで、[続行]を選択してください。途中でキャンセルすると、インストールが完了せず、ネットワークを利用することができません。
- ・ コンピュータの OS を Windows Vista にアップグレードして USB-LAN アダプタドライバをインストールする場合は、OS をアップグレードする前に古いドライバを削除し、コンピュータから 1600RD を取り外した状態で OS のアップグレードを行ってください。Windows Vista のインストール完了後、Windows Vista 対応の本ドライバをインストールしてください。
- ・ 本手順書の説明に使用した画面は一例です。お使いのコンピュータの環境によって、異なる場合があります。

<お願い>

- ・ ユーティリティプログラムをインストールする必要はありません。
- ・ インストールを行う前に、ハードディスク内のデータ（特に重要なデータ等）を必ず別なハードディスクなどにバックアップした後で、ドライバのインストールを開始してください。
- ・ また、いかなる場合でも、データが消失または破損したことによる損害については、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・ **USB-LAN で接続しているコンピュータがある状態で、IPMATE1600RD 本体の設定変更を行うと、再起動後に USB-LAN の端末がネットワークに再接続できない場合があります。設定変更の際は USB-LAN で接続しているコンピュータとの接続を一度取り外した後、LAN ポートに接続したコンピュータより設定を行ってください。（参照：IPMATE1600RD の取り外し P.13）**

Microsoft、Windows、Windows Vista は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

準備するもの

- IPMATE1600RD 本体
- 製品に付属の USB ケーブル
- 製品に付属の取扱説明書
- コンピュータ (Windows Vista インストール済み)
- ダウンロードした USB-LAN アダプタドライバファイル (解凍済み)

を用意してください。

全体の手順

1. IPMATE1600RD の電源を切ってから設定スイッチ 7 番を OFF に設定します。
(取扱説明書 第 1 部 P.1-8 を参照)
2. IPMATE1600RD の電源を入れます。このとき、1600RD とコンピュータの USB ポートはまだケーブル接続しないでください。
3. コンピュータへドライバのインストールを行います。(P.2)
4. ネットワークの設定を行います。(P.8)

USB-LAN アダプタドライバのインストール

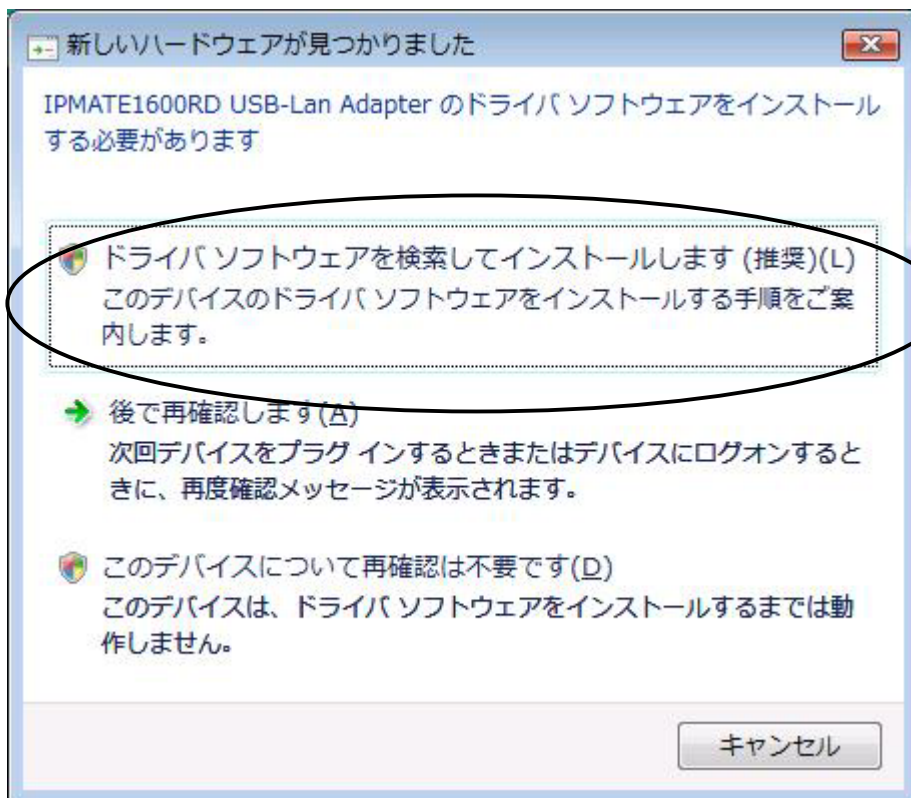
ここでは 1600RD の USB-LAN を Windows Vista で使用する場合のドライバのインストール方法について説明します。

コンピュータの電源を入れ、Windows Vista を起動します。

「管理者」となっているユーザー名でログオンしてください。

製品に付属の USB ケーブルで IPMATE1600RD とコンピュータの USB ポートを接続すると、「新しいハードウェアが見つかりました」と表示されます。(図)

「ドライバソフトウェアを検索してインストールします (推奨)」をクリックします。



(図)

ユーザーアカウント制御画面（図 ）が表示されるので [続行] をクリックします。



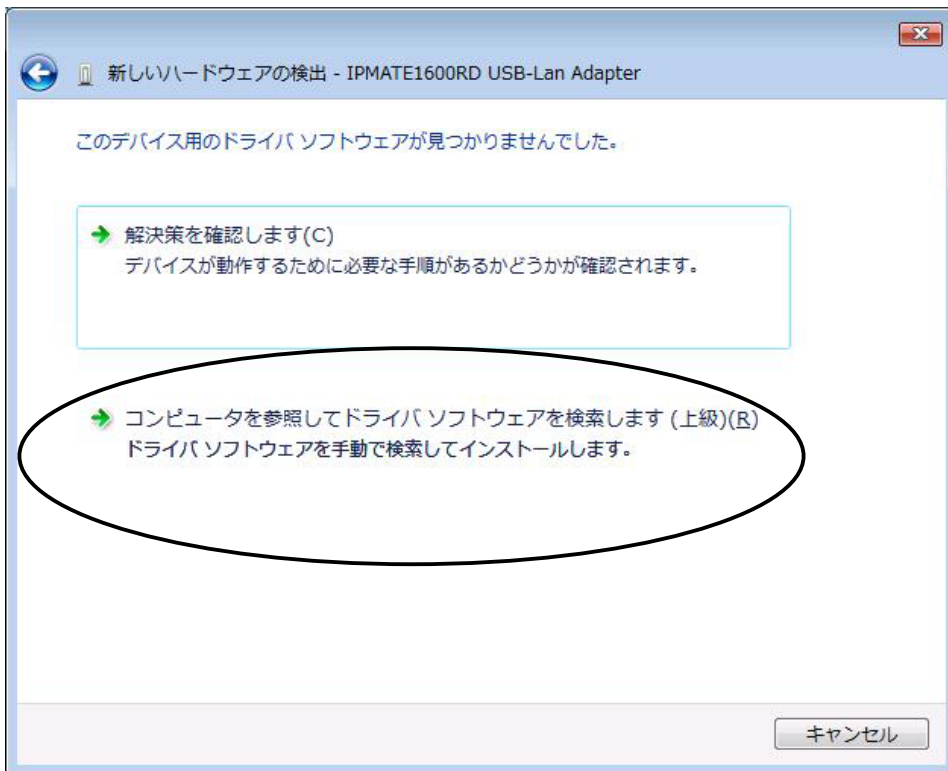
(図)

「新しいハードウェアの検出」(図④)で、「ディスクはありません。他の方法を試します(I)。」をクリックし、「次へ」をクリックします。



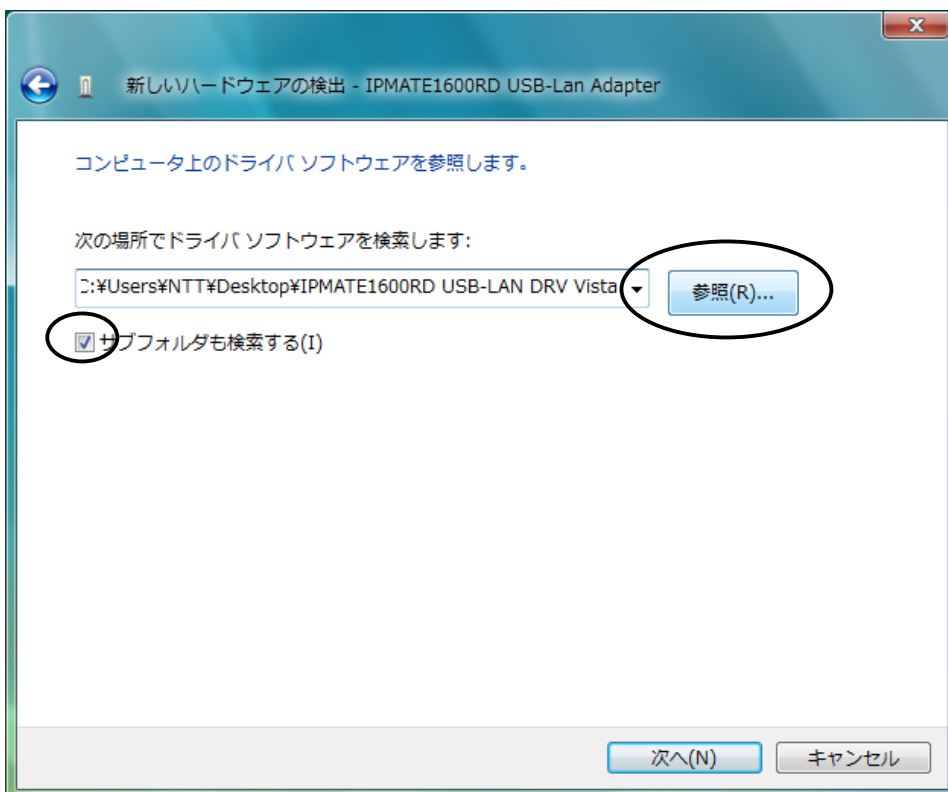
(図④)

(図) 「コンピュータを参照してドライバソフトウェアを検索します (上級) 」をクリックします。



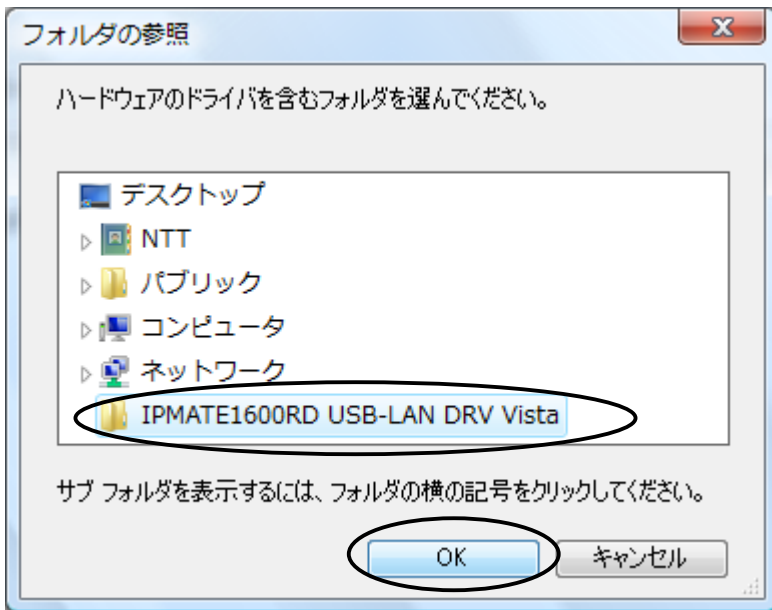
(図)

(図) 「サブフォルダも検索する」をクリックしてチェックをいれ、[参照] をクリックします。
(注 : 下記画面では、ユーザ名が 「 NTT 」 の場合を例として示しています。)



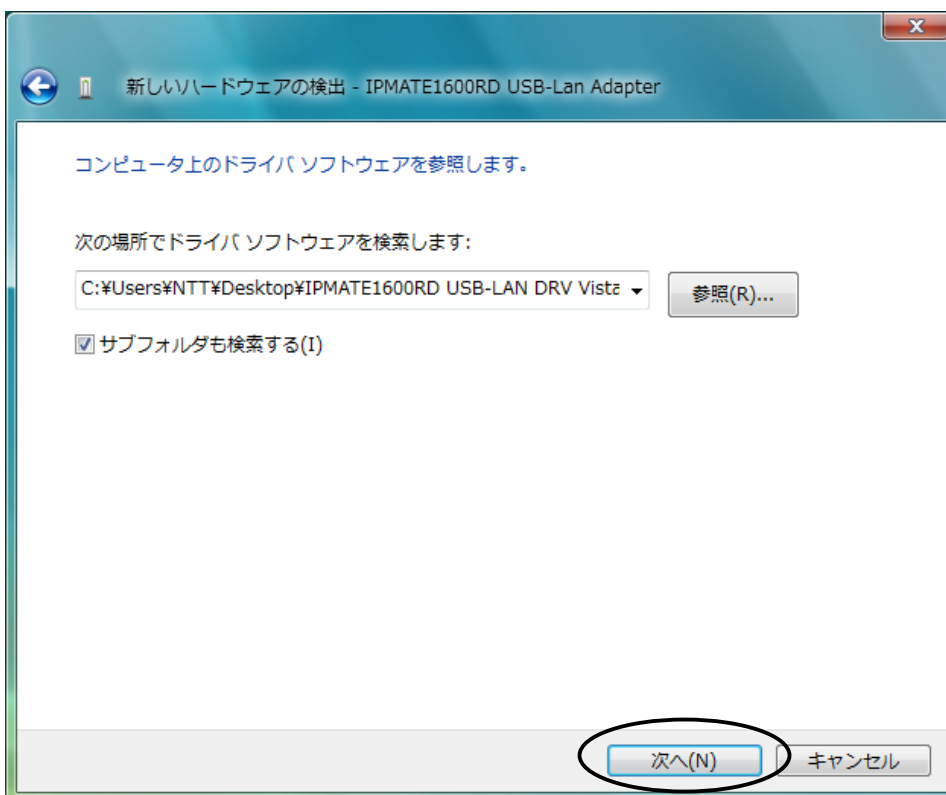
(図)

ダウンロードしたドライバファイルのフォルダ(通常はデスクトップ)で「デスクトップ」-「IPMATE1600RD USB-LAN DRV Vista」フォルダを選択し、[OK]をクリックします。

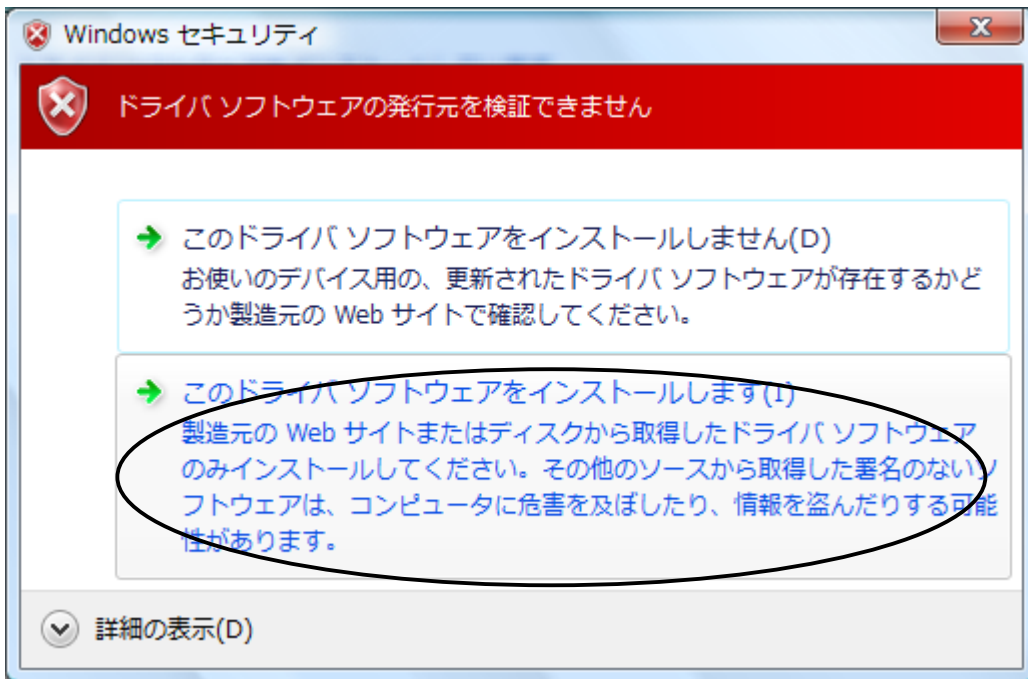


[次へ]をクリックします。

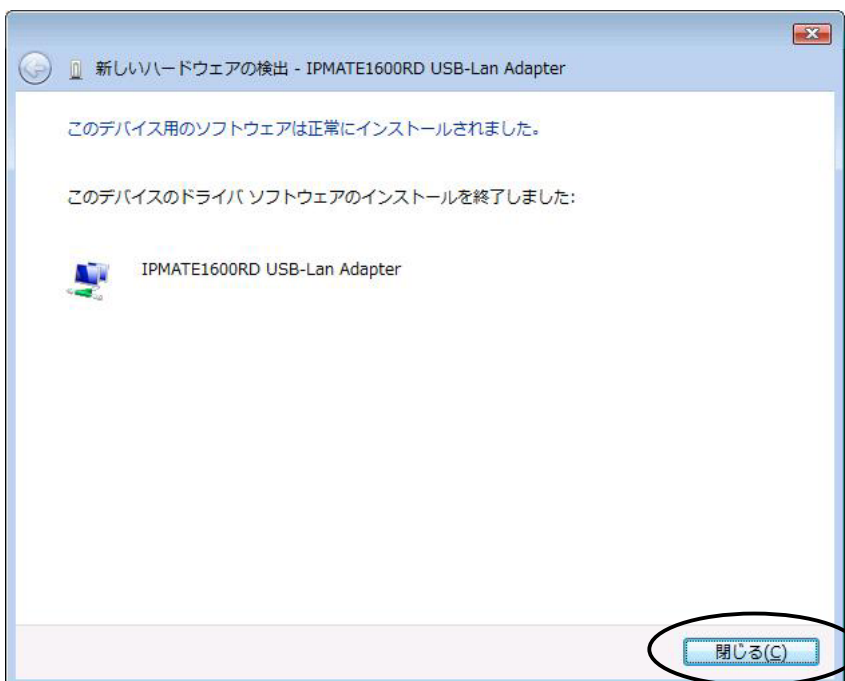
(注：下記画面では、ユーザ名が「NTT」の場合を例として示しています。)



「ドライバソフトウェアの発行元を検証できません」が表示されたときは「このドライバソフトウェアをインストールします」をクリックし、続行します。



インストールが完了したら [閉じる] をクリックします。



これでドライバのインストールは完了です。

引き続き、「ドライバインストールの確認」を行ってください (P.7)

ドライバインストールの確認

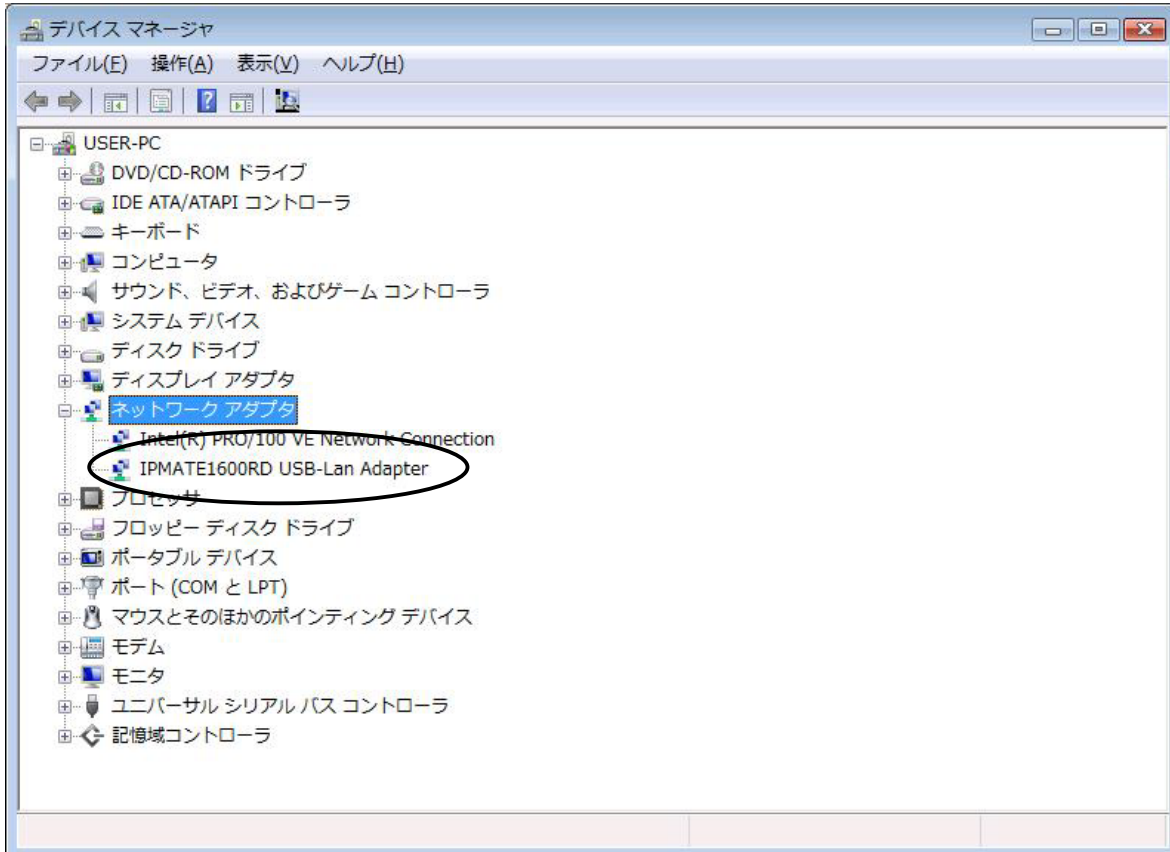
ドライバのインストールが正常に終了していることを確認します。

スタートボタン（タスクバーの Windows アイコン） 「コンピュータ」で右クリックして [デバイスマネージャ] をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合は [続行] をクリックします。（設定によっては表示されない場合があります。）

「ネットワークアダプタ」アイコンをダブルクリックします。

インストールが正常に行われていれば、ネットワークアダプタの下に「IPMATE1600RD USB-Lan Adapter」が表示されます。



引き続き、「ネットワークの設定」へ進んでください。（ P.8 ）

<お知らせ>

- ・ 次のときは、正しくインストールされていません。一度、ドライバを削除して、インストールをやり直してください。
 - ネットワークアダプタの下に「IPMATE1600RD USB-Lan Adapter」が表示されない。
 - アイコンに「？」や「」の表示がついている

ドライバの削除については、P.15 を参照してください。

ネットワークの設定

ドライバのインストールが完了すると、Windows Vistaにより自動的にネットワークの設定が行われます。通常はネットワークの設定を変更する必要はありません。

IP アドレスなどを手動で設定する場合、以下の手順で設定を行ってください。

DHCP サーバを利用しない時の設定手順

「スタートボタン（タスクバーのWindows アイコン）」

「ネットワーク」で右クリック 「プロパティ」をクリックします。

[ネットワークと共有センター] の「ローカルエリア接続」に表示されている [状態の表示] をクリックします。

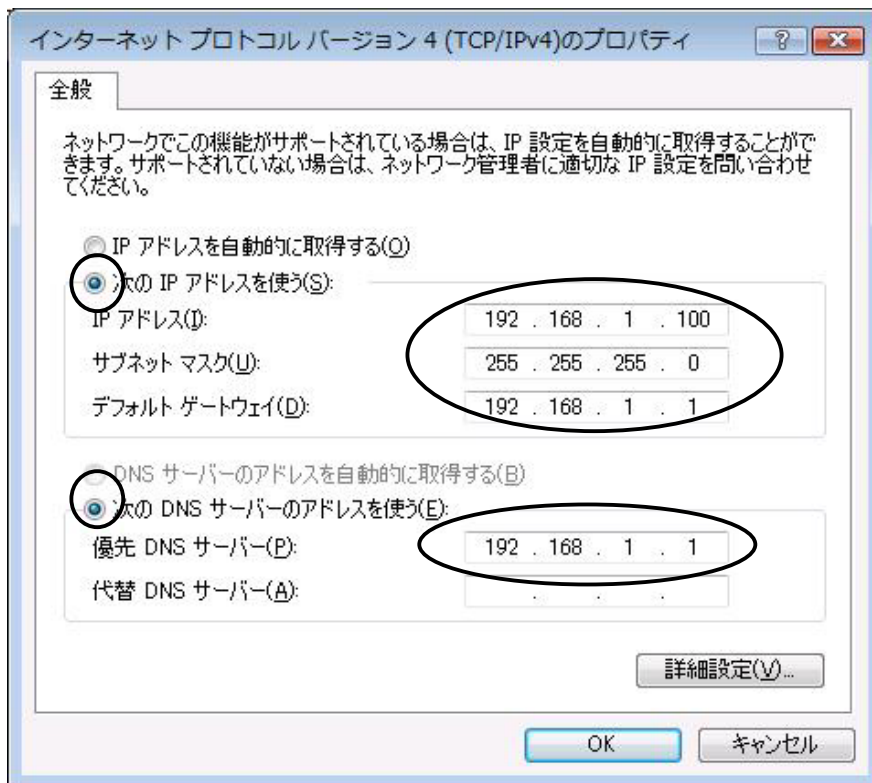


「ローカルエリア接続の状態」の [プロパティ] をクリックします。（ユーザーアカウント制御の画面が表示される場合は、[続行] をクリックします）

「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選択し、[プロパティ] をクリックします。

「次のIPアドレスを使う」をチェックして、「IPアドレス」「サブネットマスク」「デフォルトゲートウェイ」を入力します。

例：IPアドレス「192.168.1.100」、サブネットマスク「255.255.255.255」、デフォルトゲートウェイ「192.168.1.1」



「次のDNS サーバーのアドレスを使う」をチェックして、「優先DNSサーバー」を入力します。
設定が終わったら、[OK] をクリックします。

[閉じる] をクリックし、「ローカルエリア接続のプロパティ」画面、「ローカルエリア接続の状態」
画面を閉じ、×をクリックして「ネットワークと共有センター」を閉じます。

引き続き、「IPMATE1600RDの動作確認」へ進んでください。(P.9)

IPMATE1600RDの動作確認

スタートボタン (タスクバーのWindows アイコン)

「ネットワーク」で右クリック 「プロパティ」をクリックします。

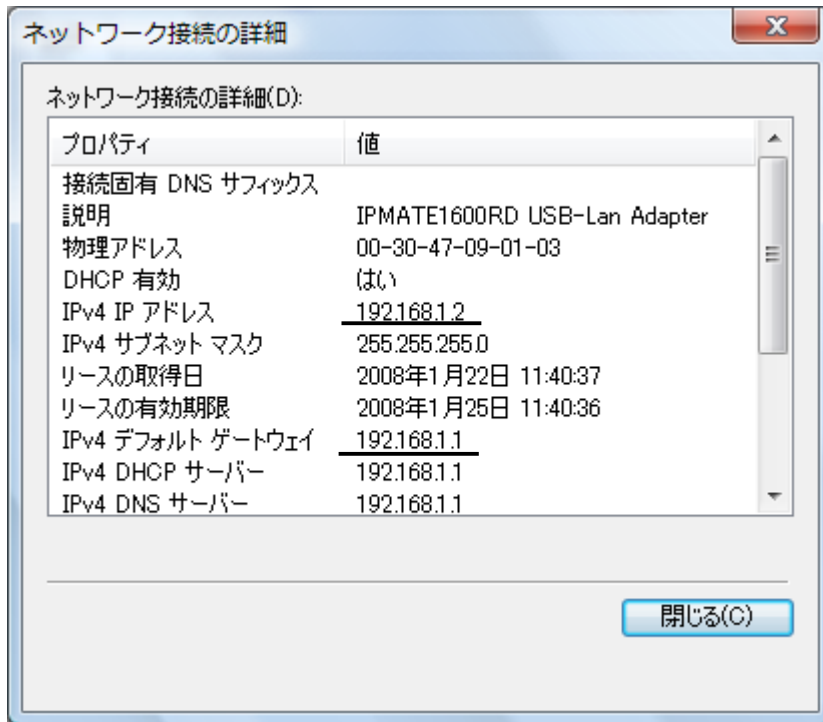
ネットワークと共有センターの ローカルエリア接続 「状態の表示」をクリックします。



「速度」が「10.0Mbps」になっていることを確認します。



[詳細] をクリックし、IPv4 IP アドレス、IPv4 デフォルト ゲートウェイが表示されていることを確認し、[閉じる] をクリックします。



[閉じる] をクリックし、ワイヤレスネットワークの接続状態を閉じます。
ネットワークと共有センターを閉じます。

以上で、IPMATE1600RD USB-LAN を Windows Vista にて使用する場合は USB LAN アダプタドライバのインストールと設定は完了です。

<おしらせ>

次の作業を行う場合は本手順書の下記該当ページを参照してください。

- USB-LAN を一時的に使用しないとき P.12
- IPMATE1600RD の取り外し P.13
- ドライバの削除方法 P.15

一時的に使用しないとき

IPMATE1600RDをUSBポートにつけたまま、一時的に使用を中止するときは、デバイスを「無効」に設定します。再度、使用したい場合は、「有効」に設定します。

次の手順を行うには、「管理者」となっているユーザー名でログオンしてください。

スタートボタン（タスクバーのWindows アイコン） 「ネットワーク」を右クリックし、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

タスクの「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、[無効にする] をクリックします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示される場合は [続行] をクリックします。（設定によっては表示されない場合があります。）

[ローカルエリア接続] アイコンに「無効」と表示されます。




有効にするには、「ローカルエリア接続」アイコンを右クリックし、[有効にする] をクリックします。

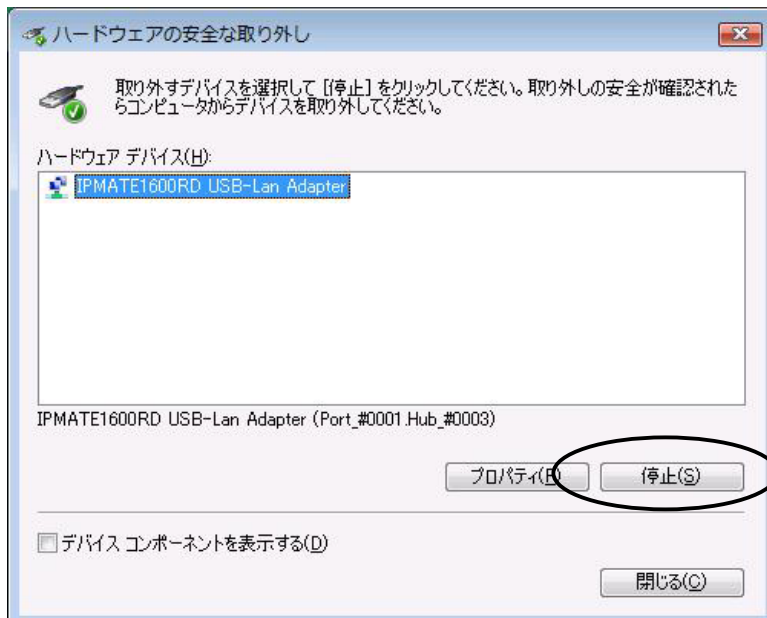
IPMATE1600RD の取り外し

IPMATE1600RD は、コンピュータの電源を入れた状態で USB ポートから取り外すことができます。

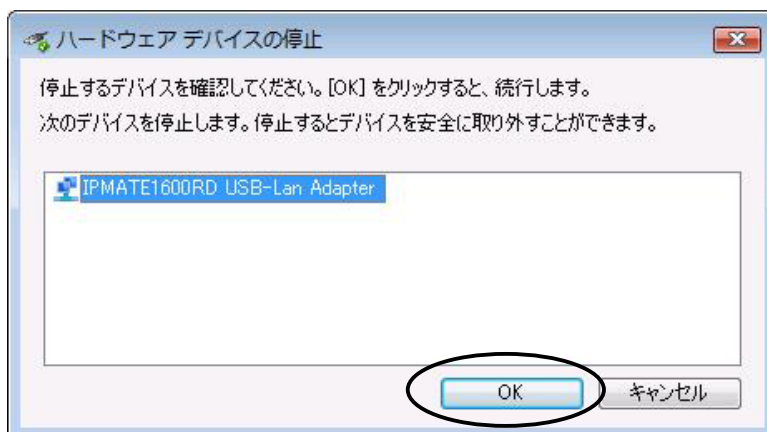
- ・コンピュータの電源が入っている状態で本商品を取り外す場合は、必ず下記の手順で行ってください。
手順を守らなかった場合、コンピュータのシステムが停止したり、ファイルが壊れたりすることがあります。また、以下の手順をお守りいただかないで起こった障害に関しましては、保障期間中であつてもユーザーサポートの対象外とさせていただきます。
- ・ネットワークと通信を行っているアプリケーションをすべて終了させてください。「ネットワーク ドライブの割り当て」を行っている場合は、すべて切断してください。

タスクバーに表示されているハードウェア取り外しアイコン () をダブルクリックします。

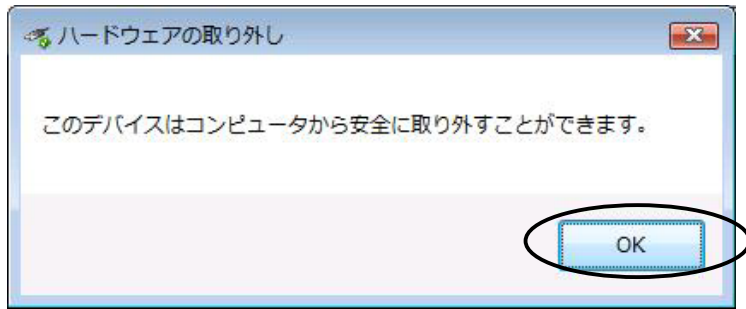
取り外すデバイスを選択し、[停止] をクリックします。



「ハードウェア デバイスの停止」が表示されたら、停止するデバイスを確認し、[OK] をクリックします。



「ハードウェアの取り外し」が表示されたら、[OK]をクリックします。



「ハードウェアの安全な取り外し」画面を確認し、[閉じる]をクリックします。
コンピュータのUSBポートから本商品を取り外します。

ドライバの削除方法

ドライバの削除は以下の手順で行ってください。

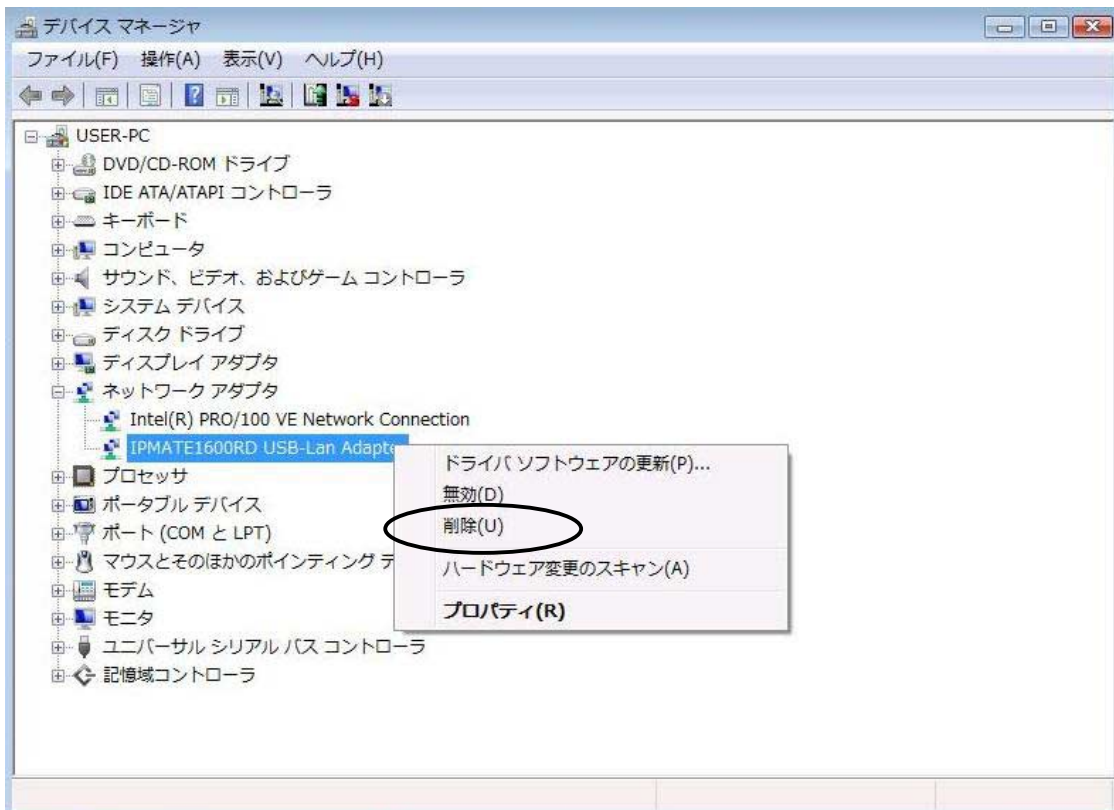
ドライバを削除するには、IPMATE1600RD とコンピュータが USB ケーブルで接続されている必要があります。接続されていることを確認の上、以下の作業を進めてください。

スタートボタン（タスクバーの Windows アイコン） 「コンピュータ」で右クリックして [デバイスマネージャ] をクリックします。

[ネットワークアダプタ] アイコンをダブルクリックします。

「IPMATE1600RD USB-Lan Adapter」を選択し、右クリックします。

[削除] をクリックします。



「デバイスのアンインストールの確認」が表示されたら、「このデバイスのドライバソフトウェアを削除する」をクリックしてチェックを入れ、[OK]をクリックします。



コンピュータの USB ポートから本商品を取り外します。
デバイスマネージャを閉じます。